

シリーズ各区ですすむ住民主体のまちづくり

やさしさと思いやりのまち兵庫

兵庫区の歴史

今の兵庫港あたりは、古代より天然の良港として知られ、奈良時代には「大輪田泊」と呼ばれ、瀬戸内海の交通の要衝として、また外交の窓口として大いに栄えた。平安末期には、平清盛により港が改修されて日宋貿易の拠点として栄えると共に、山手の福原には、半年ではあるが都もおかれてわが国の政治の中心地ともなった。近世に入り「兵庫津」と呼ばれるようになると、廻船問屋の北風家に代表される豪商の屋敷が建ち並び、海運の要所として、また一大経済都市として歴史に登場する。江戸期寛政年間には、司馬遼太郎著「菜の花の沖」でも有名な高田屋嘉兵衛が択捉航路を開き、北海道物産交易の基地としても大いに賑わった。

明治になって、切戸町の兵庫城跡に初代兵庫県庁が置かれた。明治初期には、和田岬沖を迂回する船の波浪の難を避けるため兵庫港から西へ直接抜ける新川運河と兵庫運河が建設された。

明治期には、三菱重工・川崎重工などの大企業が次々と進出し、労働者のまちとして大いに賑わうこととなる。また湊川の河川掛け替え工事によって、その跡地に「新開地」のまちができ、大衆芸能・大衆文化の発信拠点としての中心となった。

地域のまちづくり活動

このように兵庫区は、歴史の息づいてきたまちでありながら、それらの資源を必ずしも広く一般に知られていない状況でもあることから、歴史を切り口としたまちづくり活動を行っている地域が多い。例えば、平野地区では祇園神社やお地藏さん、西出・東出地区では高田屋嘉兵衛、明親地区では兵庫大仏で有名な能福寺等多くの社寺、和田岬地区では和田岬砲台など。それ以外にも和田神社を中心とした寺社がネットワークを作り、七福神巡りや七辨天巡りなどを行っている。近世の大衆芸能や大衆文化をリードしてきた新開地

では、それらを意識しつつ、アートをキーワードに新しい感覚をまちに吹き込もうとしている。また、平清盛の築島や清盛塚のある切戸周辺では、兵庫津 NEO アルチザン工房と一緒に、NHK 大河ドラマ「義経」にちなんで、平清盛を盛り上げてまちの活性化に資しようとの活動も始まった。

最近では、歴史以外の地域の財産を活用した活動として、会下山地区では、会下山公園での「さくらの園」づくり。浜山地区では、兵庫運河を利用したのボートを使った地域スポーツクラブ構想などがある。

これら以外に松本地区では、震災復興のまちづくりの中で“せせらぎ”を設けて潤いのあるまちなみを整備した。

これらの活動を通じて、山麓部でもある北部の方では、狭隘道路解消に向けたまちづくりの検討、南部では、市営地下鉄海岸線沿線の地域活性化に向けた活動を目指している。

最近のコラボレーションの話題

『青空駐車場の撤去』

兵庫運河周辺は、道路上の迷惑駐車が絶えないばかりか廃車やゴミまでが捨てられていたため、兵庫運河活性化と美しいまち推進の観点から、地域にとって大



きなマイナスであった。

和田岬地域では、住民が先頭に立って行動を始め、地域の熱意に動かされて建設局中部建設事務所をはじめ兵庫警察署、兵庫区も協力した。撤去した放置車両の後には行政が、夜間に移動した車の後には地元がバリケードを置いていくことで、しばらくの間に道路の青空駐車は、きれいに整理されるに至った。今後は、再び不法駐車されることがないように対策の検討を始めていると共に、将来は運河プロムナードとしての整備が望まれている。

『兵庫運河の夢咲かそ！』

浜山地域では、10月に兵庫運河で初めてのレガッタ教室を開催した。兵庫運河は、長い間貯木場として利用され、子供達には、近づく事が危険な場所とされていた。

開催にあたっては、水面への搬入部分の違法駐車がその妨げになっている事や、プレジャーボートの不法係留を避けてのボートへの乗降、水上バイクの暴走に対する安全面への配慮等の課題も多かったが、浜山青年会と神戸市漕艇連盟が連携して行動し、兵庫区、み

なと総局、建設局中部建設事務所の協力に加え、違法駐車の排除に兵庫警察署が、当日の安全対策には地元の漁師の協力もあり、無事に開催する事ができた。

地元では、今回確保した違法駐車撤去跡スペースが、既に物揚げ場としての機能を持っていない事から、今後のボート教室等開催としてだけでなく、地域の人が憩える地元管理のポケットパークとしても利用していきたいと考えており、管理者であるみなと総局に協力を要請していく予定である。



これらの地域の熱意と連携による活動は、行政も協働して地域の課題解決に向けて動く事が出来る例となった。

(兵庫区まちづくり推進課)

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

1月 6日(木)～31日(月)	空から見た震災復興写真展	都市計画総局地域支援室 区画整理課 こうべまちづくりセンター
-----------------	--------------	--------------------------------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

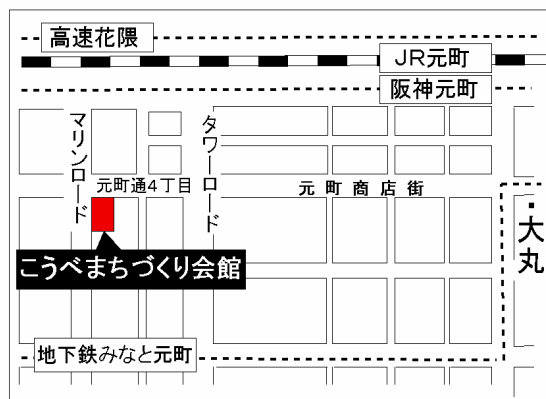
期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
1月 6日(木)～11日(火)	神戸大学写真部展	神戸大学写真部
1月13日(木)～18日(火)	吉岡充水彩画展—復興10年—	吉岡 充
1月21日(金)～25日(火)	震災・いのちのメッセージ(水彩他)	森 梢
1月27日(木)～2月1日(火)	ろうきん公募写真展	(財)兵庫労働者福祉基金協会

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
(こうべまちづくり会館 3F)
電話 078-361-4377 ・FAX 078-361-4584
受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は、事前にご連絡ください。

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
会報等の印刷サービスや
自治会の相談(インストラクター派遣など)
受付:午前10時～午後6時(印刷は、5時まで)
電話 078-361-4565
- 水曜休館



「復興再開発事業の今(震災後10年を前に)」その2

【六甲道駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業】

六甲道駅南地区は、「神戸市の基本計画」(第4次マスタープラン)において東部副都心として位置づけられ、地区の一部では市街地改造ビルが建設(S53完成)されJR六甲道駅南側の駅前広場も整備されていましたが、大部分は住宅・商業・業務の混在した低層市街地でした。

震災時には、市街地改造事業による再開ビルが倒壊した他、多くのマンション、木造家屋が被災し、再開発区域内全体で約65%が全半壊の被害を受け、34人が死亡しました。



震災により甚大な被害を受けた市街地の復興を図るため、1995年3月17日、第2種市街地再開発事業の都市計画を決定しました。

その後、地元まちづくり協議会から、まちづくり提案を受け、公園区域の見直し等の都市計画変更を行い、2004年3月末までには、計画14棟の再開ビル全棟が完成しています。

その結果、915戸の住宅供給、健康増進施設をはじめとした文化教養施設や、魅力ある商業施設、灘区役所等、副都心にふさわしい施設の供用が開始されています。

2004年度以降は、六甲道南公園や南駅前広場等の公共施設の整備を進めていくとともに、地域全体の防災公園となる六甲道南公園では管理運営のありかたを検討するため、再開地区のみならず周辺自治会代表者などを中心とした組織づくりが進んでいます。

【新長田駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業】

新長田駅南地区は第4次マスタープランにおいて西部副都心として位置づけられていますが、住環境の悪化・高齢化・産業停滞などインナーシティー問題が顕在化してきたため課題解決策として、これまでに地下鉄海岸線の建設や再開事業によるJR新長田駅南側の駅前広場の整備などに取り組んできました。

震災時、新長田駅の南側では、多くの商店・家屋が

倒壊するとともに、大規模火災が発生し、再開事業区域内全体で約83%が全半壊・焼失の被害を受け、49人が死亡しました。



震災により甚大な被害を受けた副都心の復興を図るため、1995年3月17日、第二種市街地再開発事

業の都市計画を決定しました。

その後、地元まちづくり提案を受け、4回にわたり道路・公園・用途地域の見直し等の都市計画変更を行い、2004年3月末までに23棟の再開ビル建設工事に着手し、うち18棟が完成しています。

23棟の再開ビルの事業化により、住宅・商業とも従前相当規模の施設が整備され、当地区のすまいや商業軸の復興に目処がたったと考えています。

また、事業区域内では、お笑いの「二葉小路「夢屋」寄席」やSITEKOBÉにおけるライブなどの開催が目白押しのほか、全国最大級の沖縄物産店「琉球ワールド」や、「アジアワールド」といった個性あふれる商業施設がオープンしました。

今後は、個性あふれる西の副都心にふさわしく、「生活再建」から「よびこみ、つどい、共生する」まちを目指して、まち全体の活性化に取り組んでいきたいと考えています。

計画の概要

		六甲道駅南地区	新長田駅南地区
面積		約5.9ha	約20.1ha
従前世帯人口		約700世帯 役1,400人	約1,600世帯 役4,600人
従前権利者		894人	2,126人
住宅供給計画		約915戸	約3,000戸
全体事業費		約901億円	約2,710億円
施工期間		94年～05年	94年～08年
整備内容	公共施設	六甲道南公園(0.93ha) 六甲道駅南線(幅員22m)等	若松公園(1.6ha) 五位池線(幅員27m)等
	施設建築物	14棟 住宅・商業・業務施設、 公益的施設、駐車場等	約40棟 住宅・商業・業務施設、 公益的施設、駐車場等

田谷 孝壽(神戸市都市計画総局再開発課計画係長)

第9回神戸市建築文化賞 受賞建物決定！ 《表彰式・記念講演会》 参加募集！

◆第9回神戸市建築文化賞の受賞建物決定◆

平成16年8月から募集しました「神戸市建築文化賞」は、震災復興への貢献などにも注目して選考を行った結果、下記の5件の建物の受賞を決定しました。

《建築文化部門》	・神戸税関本関
《復興建築部門》	・カトリック神戸中央教会
	・神戸国際会館
	・日本基督教団神戸栄光教会
《ストック再生部門》	・ロック・フィールド
	神戸ヘッドオフィス/神戸ファクトリー

◆表彰式・記念講演会の参加者募集◆

受賞建物の表彰とともに、神戸の建物やまちの魅力を考える機会として記念講演会を開催します。ぜひご参加ください。

★日時 平成17年2月6日（日）13:00～15:30

★場所 ファミリアホール（旧三菱銀行神戸支店）
中央区相生町 1-1-21（神戸中央郵便局西斜め向かい）

★プログラム

表彰式・受賞建物紹介

基調講演「まちの資産・原風景としての建築を考える」

森まゆみさん（作家・地域雑誌編集者・東京国際大学教授）

対談「神戸のまちと建築への思いを語る」

森まゆみさん・武田則明さん（建築家・神戸山手大学教授）

★参加申し込み

- ・無料（定員250名を超えた場合、抽選）
- ・参加者全員の氏名と代表者の住所・電話番号・FAX番号・電子メールアドレスを記入の上、下記まで。

『都市計画総局技術管理課「建築文化賞の係」』

はがき：〒650-8570（住所不要）

TEL：322-5629, FAX：322-6118

Email：kenchiku_bunka@office.city.kobe.jp

- ・締切：平成17年1月23日（日）必着。



神戸税関本関



カトリック神戸中央教会



神戸国際会館



神戸栄光教会



ロック・フィールド神戸HO/神戸F

学生の考える、地域マスタープラン

神戸芸術工科大学環境デザイン学科では、今年度の環境デザイン実習Ⅳ（3年生対象）の課題として、10月から12月にかけての約2ヶ月半、学生たちが兵庫区・湊川地区と中央区・波止場地区を設定敷地とする「マスタープラン（全体構想）」の作成と「主要施設の詳細設計」に取り組んでまいりました。

このたび、それらのうち湊川地区の課題について、かねてより本学科の川北研究室と交流のあったミナイチ・ショッピングセンター（湊川協同組合）の地下スペースにおいて、いくつかの作品の展示と発表を行うこととなりました。

湊川地区の特色を活かすべく提案された力作4作品のパネルのほか、模型の展示も行います。また、期間中の1月30日（日）には、制作者自身によるプレゼンテーションも企画されています。ぜひ足をお運びいただき、学生たちの柔軟で新しい感性にエールを送ってください。

◆神戸芸術工科大学 環境デザイン実習Ⅳ

「湊川地区マスタープラン（全体構想）」及び「主要施設の詳細設計」作品展◆

- (1) 日時 プレゼンテーション：平成17年1月30日（日）午前11時～
パネル・模型の展示：平成17年1月26日（水）～2月7日（月）
各日とも午前10時～午後6時
- (2) 場所 ミナイチ・ショッピングセンター地階（兵庫区荒田町1丁目22）
- (3) 交通 市営地下鉄山手線「湊川公園駅」・神戸電鉄「湊川駅」より北へ徒歩5分
- (4) 展示内容 ①湊川地区マスタープランおよび主要施設の詳細設計4作品のパネル
②主要施設の立体模型
※マスタープランおよび一部の詳細設計は、複数の学生がグループを結成して取り組んでいます。
- (5) 問い合わせ先 ミナイチ・ショッピングセンター（担当：山西）TEL：511-4260